

スリナム月間情勢報告

(2020年6月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

- 総選挙の開票は、一部の投票所で時間がかかったものの、最終公式結果が発表され、野党VHPの第1党が確定し、7月中旬に同党と3野党の連立政権が誕生し、サントキ大統領が就任する見込みとなった。
- ポータッセ大統領は、公式結果発表後に野党に祝意を述べ、政権移行を順調に行うための野党側との協議に応じた。同大統領は、国会議員就任を辞退した。
- 新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、終日外出禁止等の措置が取られたが、感染者は6月末に535人まで急増した。支援金の受給に長い行列ができた。

2. 内政

(1) 総選挙関連

- 1日、カリコム選挙監視団は、現時点では自由、公正、透明性があり、信頼できる選挙であった、問題はいくつか見られたが、不正行為の証拠はなかったとの暫定報告を発表。
- 4日、内務省は、総選挙の暫定結果を発表。投票者数274,323人、投票率71.6%。議席配分は、与党国民民主党（NDP）16、統一改革党（VHP）20、幅広い自由と発展党（ABOP）8、スリナム国家党（NPS）3、兄弟愛と統一党（BEP）2、最高の信託党（PL）2となり、野党VHPと3野党の連立合計は33議席で、大統領選出や重要法案可決に必要な3分の2（34議席）には1議席足りない結果となった。
- 9日付現地紙は、与党NDPが要請していたパラマリボの3カ所の投票所の再集計は、却下されたと報道。
- 10日付現地紙は、連立政権を目指す野党連立は銀行協会等経済団体と会談し、経済界の要望を聴取した、今後透明性ある政策決定を目指すことと述べたと報道。
- 11日付現地紙は、サントキ党首がラジオインタビューで、ポータッセ大統領をオランダに引き渡すと述べたことに関し、同大統領は同党首と協議してきたことと異なると反発、サントキ党首は発言が誤解された、スリナムは自国民を他国に引き渡すことはしないと訂正したと報道。
- 11日付現地紙は、ポータッセ大統領は、今回の選挙結果は国民の声であり、尊重する、野党への祝福は正式結果発表まで待つと述べたと報道。
- 16～17日付現地紙は、中央選挙委員会が総選挙結果（議席は暫定結果と変わらず）を発表した、4野党間の連立協議は最終的な詰めを行っている、大統領

はVHP、副大統領はABOPから出すことが決まっており、国会議長はABOP、副議長はVHPとなる見込み、15日、ボータッセ大統領とサントキVHP党首及びブランズウィックABOP党首の会談が行われ、秩序及び責任ある政権移行に向けた協議が行われたと報道。

- 17日付現地紙は、野党VHPは国会議員及び地方議員全体総数でも過半数を獲得したと報道。
- 21日、独立選挙局は、総選挙公式結果（議席に変更無し）を承認したが、パラマリボ地区の一部で不規則な問題が生じたと発表。同日、ボータッセ大統領は、野党の勝利に対して、祝辞を発表。
- 25日付現地紙は、サントキVHP党首は、野党連立はボータッセ大統領やウーフダド財務大臣等と政権移行に関する協議を続けており、7月中旬に新政権を発足させたいと述べたと報道。
- 26日付現地紙は、サントキ党首は、ボータッセ大統領から恩赦の嘆願が出されれば、憲法の枠内で検討すると述べたと報道。
- 29日、総選挙後初の国会が招集され、国会議員の宣誓が行われ、議長にブランズウィックABOP党首、副議長にチャーマンVHP議員が選出された。ボータッセ大統領は議員就任を辞退し、モスタヤ議員が繰り上げ当選となった。7月2日に正副大統領選出期日が決定されることとなった。

（2）新型コロナウイルス

- 1日、ボータッセ大統領は、感染者増加に伴い、夜間外出禁止、集会人数制限、移動制限等の強化措置を発表。
- 3日、アディーン副大統領は、6日から12日までの終日外出禁止（必要不可欠な場合を除く）、店舗等の営業制限等の措置を発表。
- 8日、政府は21日までの間、困窮市民に対する支援パッケージを配布すると発表。
- 20日、ボータッセ大統領は、終日外出禁止を夜間外出禁止に変更する等の制限措置の一部緩和を発表。
- 23日、中国スリナム協会は、保健省に500の検査キットを贈呈。
- 30日現在の感染者数は535人と5月末の23人より急増した。

3. 経済

- 13日付現地紙は、パーメッサー農業大臣は、青果物輸出業者と会談し、EUへの農産品輸出に関して、EUから植物検疫上禁止している品目の輸出が含まれているとの通達が相次いでいることへの対策を協議したと報道。
- 16日付現地紙は、ジョギ国会議員は、コロナ対策規制の中で、食料の流通、販売等の99.9%を中国人が独占していると述べたと報道。

- 16日付現地紙は、社会問題・住宅省にコロナ禍に関する1,500スリナムドルの支給受領を求めて、長い行列ができたと報道。
- 17日付現地紙は、トリクト前中央銀行総裁の不正を捜査している検察は、ウーダド財務大臣が同前総裁と共謀していると見ていると述べたと報道。
- 22日付現地紙は、南東部の洪水は依然続いており、家屋の浸水、田畑の冠水などの被害が出ていると報道。
- 24日付現地紙は、ある銀行筋は、この2ヶ月で政府は国債を10億スリナムドル以上発行し、その資金は経済につき込まれていると述べたと報道。

4. 外交

- 14日付現地紙は、新型コロナウイルス対策で国境閉鎖が続く中で、先般ブラジル当局は、スリナムから不法に入国し、タバコを密輸しようとした船舶の船員を逮捕したと報道。
- 22日付現地紙は、アルマグロ米州機構(OAS)事務総長は、スリナム総選挙結果発表を歓迎し、政権交代が順調に進むことを期待するとの声明を発表。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。